

牛ボツリ又ス症に注意しましょう！！

牛ボツリ又ス症は、近年、全国的に発生が増えており、数百頭規模の集団感染も確認されています。

予防には、ワクチン接種やカラス等の野生動物侵入防止対策の徹底が有効です。

なお、ワクチン接種は診療獣医師または当所にご相談ください。



牛ボツリ又ス症とは

【感染経路】

- ・カラス等の野生動物が持ち込んだボツリ又ス菌を牛が摂取
- ・ボツリ又ス菌に汚染された飼料や水を牛が摂取（ボツリ又ス菌は飼料中でも増殖します）

【症状】

- ・後躯麻痺による起立不能
- ・活力低下、沈うつ、流涎、体温低下、舌麻痺
- ・首を横に曲げてうずくまる乳熱様姿勢、ついで横臥、四肢伸長、最後には呼吸不全に至り窒息死

【対策】飼養衛生管理基準の遵守が重要です。

- ・ワクチン接種
- ・野生動物の牛舎内への侵入防止
- ・飼槽、水槽などのこまめな清掃、消毒
- ・飼料の適正な保管（野生鳥獣からの汚染防止、変敗防止）
- ・適正な堆肥処理等

【有効な消毒薬】

- ・塩素系（クレンテなど）、アルデヒド系（グルタールなど）